

記者発表資料

「R2 鬼怒ダム管内放流警報設備他改修工事」において 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」等 を試行します。

工事発注において、入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R2 鬼怒ダム管内放流警報設備他改修工事」は、以下の試行を行います。

①「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を適用します。

③「配置予定技術者の専任を要しない期間」

現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任（監理）技術者の専任を要しないこととします。

④「余裕期間制度」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

⑤「機器単体費等の提示」

工場製作に係わる機器単体費を歩掛見積参考資料に提示することを試行します。

⑥「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事(試行)」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／栃木県政記者クラブ
宇都宮市役所記者クラブ／日光記者クラブ

お問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所
さいとう みつのり ともだ まもる

副所長： 斎藤 充則 防災情報課長 友田 守
住 所： 栃木県宇都宮市平出工業団地14-3
電 話： 028-661-1341（代表）

《工事概要》

- (1) 工事名：R2鬼怒ダム管内放流警報設備他改修工事
- (2) 工事場所：栃木県日光市川治温泉川治295-1 五十里ダム管理支所外8箇所
- (3) 工期：契約締結の翌日から令和4年3月18日まで
(余裕期間制度（フレックス方式）)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：通信設備工事
- (6) 工事内容（概要）

放流警報設備（屋内型）更新	2台
放流警報設備（屋外型）更新	1台
放流警報表示設備更新	1台
観測データ監視局装置更新	1台
雨量伝送装置更新	2台
水位伝送装置改修	1台
据付調整	1式

《 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）について 》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《 施工箇所が点在する工事の積算について 》

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で開催するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を適用します。

《 配置予定技術者の専任を要しない期間について 》

本工事は、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任（監理）技術者の専任を要しないものです。

《 余裕期間制度（フレックス方式）について 》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約の翌日から令和4年3月18日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《 機器単体費の提示について 》

工場製作機器（放流警報警報局装置、観測データ監視局装置、雨量伝送装置、放流警報表示装置等）について、機器単体費を歩掛見積参考資料に提示します。

《 難工事指定について 》

本工事の一部において、急傾斜地での現場内の機器運搬がある厳しい施工条件であるため、「難工事指定」を採用します。難工事指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《 スケジュール 》

- | | |
|-----------------|----------------|
| ○入札公告、入札説明書交付 | ： 令和3年6月23日（水） |
| ○技術資料等の提出期限 | ： 令和3年7月 2日（金） |
| ○入札書・工事費内訳書提出期限 | ： 令和3年7月26日（月） |
| ○開札日 | ： 令和3年7月29日（木） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)
以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上